

研究へのご協力をお願い

研究課題名「東京歯科大学千葉歯科医療センター（旧千葉病院）歯科麻酔科における 10年11ヶ月間の院内救急症例の検討 —2010年4月から2021年2月—」

東京歯科大学 歯科麻酔学講座
研究責任者：講師・川口潤

この度、東京歯科大学千葉歯科医療センター（旧千葉病院）歯科麻酔科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

1. 研究目的と意義

東京歯科大学千葉歯科医療センター（旧千葉病院）歯科麻酔科では、1988年4月から救急患者処置台帳を作成し、救急要請があった患者様に対して救急処置内容や対応した内容などについて記録してきました。

今回、過去10年11ヶ月間に歯科麻酔科で対応した救急症例の調査を行い、未然に防ぐ方法や、発生したときの対応方法や体制について検討を行うことで、医療安全の向上に役立てることが出来ます。

2. 研究方法

＜この研究にご参加いただく方＞

2010年4月から2021年2月の間で東京歯科大学千葉歯科医療センター（旧千葉病院）において歯科麻酔学講座に救急要請があり、救急対応させて頂いた患者様を対象とします。

この期間に約140名の患者様の緊急対応をさせていただきました。研究対象者に該当しているかどうかご不明な場合は、下記担当者までお問い合わせください。

＜この研究の実施内容・方法＞

救急患者台帳や診療記録から、年齢、性別、既往歴、服用薬、アレルギー、副作用歴、診療科、発生場所、救急対応の内容・処置内容について、集計させていただきます。使用するデータは個人情報に特定できない資料を使用しますので、個人情報は十分に保護されます。

＜ご協力いただく事項＞

診療記録などの既存情報を用いますので、新たに患者様にご負担いただくことはございません。

＜研究期間＞

本研究の研究期間は、2023年7月21日～2024年3月31日です。

3. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究では救急患者台帳や診療記録に記載された情報を用いるため、患者様に新たな負担やリスク、利益は生じません。

また、個人情報については個人が特定できない形で使用いたしますので、不利益を被ることはございません。

4. 個人情報等の取扱い

本研究の実施にあたっては、どのような場合でもプライバシーの尊重を最優先し、個人情報の保護のために最大限の配慮を行います。本研究を実施するにあたり、個人が特定できない形での資料を作成し、個人情報を保護します。患者様個人を特定できる情報は一切公表されません。

本研究で得られたデータは、本研究のためだけに使用します。また、研究・報告のためにまとめた資料（研究データなど）も研究責任者が厳重に管理致します。研究終了後は資料を5年間保存し、保存期間終了後すべての資料は歯科麻酔学講座の情報管理責任者の立ち合いのもと完全に消去致します。

5. 研究に関する情報公開の方法

＜研究計画書の開示＞

本研究の研究対象者に対しては、研究計画書の閲覧を行うことができます。ご希望される方は、下記担当者までお問い合わせください。

研究対象者になっているかどうかご不明な場合は、下記担当者までお問い合わせください。

＜研究成果の公表＞

本研究により得られたデータは、日本歯科麻酔学会雑誌で論文発表する予定です。

なお、この研究が公表される際、患者様個人を特定できる情報は一切公開されません。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 費用等に関すること

本研究において患者様に新たな費用、謝礼は生じません。

また、本研究において利益相反はございません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学千葉歯科医療センター

研究責任者（情報管理責任者） 川口潤

連絡先 043-270-3915（歯科麻酔科外来）